

第 65 回堺市こども会中央スポーツ大会開催要項

- | | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 趣 旨 | こども会の交流を図りスポーツ活動を通して、こどもたちの心身の健やかな成長と社会性を育てることを目的とする。 |
| 2 | 主 催 | 堺市こども会育成協議会 |
| 3 | 後 援 | 堺市教育委員会 |
| 4 | 抽選会
及び
説明会 | 令和7年11月24日(月) 堺市役所本館3階第1・2会議室
ソフトボール競技 午後1時～
ポートボール競技 午後2時～
つな引き競技 午後3時～ |
| 5 | 期 日 | 令和7年12月7日(日) 午前9時～
※雨天等悪天候の場合、ソフトボール競技のみ翌々週12月21日(日)に順延。
※順延日が雨天等悪天候の場合には、本年度の大会は中止とする。 |
| 6 | 会 場 | 開会式 各会場にて簡略化して行う。
ソフトボール競技 金岡公園野球場
ポートボール競技 金岡公園体育館大体育室
つな引き競技 金岡公園体育館小体育室
閉会式 各会場にて簡略化して行う。 |
| 7 | 種 目 | ソフトボール競技 1年～6年生の男子・女子
ポートボール競技 1年～6年生の女子
つな引き競技 1年～4年生の男子・女子(男子女子の混合チーム也可。
令和7年度より、チーム編成時の性別による制限はありません。)
※男女とも1人1種目にしか出場できない。 |
| 8 | チーム数
及び人数 | ①ソフトボール競技、ポートボール競技とも各ブロックより3チーム以内。
ただし、美原ブロックは2チーム以内。
つな引き競技は各ブロックより4チーム以内。
なお、出場資格に不正が認められる場合は当該選手の出場は認めない。
②ブロック会長の承認のうえ、ソフトボール競技、ポートボール競技とも同一校区からの複数チーム(単位子ども会)の参加を認める。ただし、同一単位こども会所属のチームからの参加は1チームまでとする。
つな引き競技は同一校区から2チームまでの参加を認める。
③チーム人数は、ソフトボール競技 18名以内
ポートボール競技 14名以内
つな引き競技 14名以内 |
| 9 | チーム編成
及び登録 | ①単位こども会を基本としてチーム編成を行うこと。
②単独でチーム編成ができない場合は、ブロック会長の承認により合併を認める。 |

③選手の複数チームへの重複登録は認めない。

④ブロック会長は、中央大会出場チームの登録メンバー表をブロック大会終了後、速やかに、市こ協事務局へ提出すること。

ただし、やむを得ない場合の変更は、ブロック会長を通じて、市こ協事務局へ提出すること。

10 種目別要項

ソフトボール

①使用球は日本ソフトボール協会検定2号球とし、使用バットは1号または2号バットとする。

②各試合とも5回戦50分以内とし、延長は時間範囲内で認める。

規定内でなお、勝敗が決定しない場合は最終出場選手9名の抽選で決定する。

ただし、決勝戦は5回戦50分以内とし、50分を経過したら、タイブレークを2回まで行い、勝敗が決定しない場合は最終出場選手9名の抽選で決定する。

雨天、暴風雨などにより試合の続行が不可能となったら、3回もしくは30分を経過している場合に試合の成立を認める。

③初戦の試合前のみ5分のフィールドイング練習を認める。

控え投手のみ試合中の練習を認める(キャッチャーはマスクとヘルメットを必ず着用すること)。ただし、試合の妨げにならないように注意し、安全には十分に配慮すること。

④打者、ネクストバッターズサークルの次打者及び走者、ランナーコーチ等については危険防止と円滑な進行のため、ヘルメット(両耳当て付)を必ず着用すること(おとなのランナーコーチも着用)。

⑤キャッチャーは危険防止のため、プロテクター、レガース、ヘルメット及びスロートガード付マスクを必ず着用すること。

⑥金属製スパイク以外の専用シューズの使用を認める。(色は自由)

⑦監督以外の抗議は認めない。

⑧監督、コーチは腕章を着用すること。

⑨D P(指名選手)・再出場ルールを採用する。

⑩オフィシャルルール1-40項「故意四球」は、中央大会では採用しない。

⑪勝敗が決定しない場合の抽選は、「○」「×」の札をそれぞれ9枚ずつ用意し、最終出場選手で1人ずつ引く。審判員は、チーム毎に札をまとめ、監督の立会いのもと、開封し、「○」が多いチームを勝ちとする。(誰が引いた札か特定ができないよう配慮する。)

⑫その他は、2025年度オフィシャルルールに準ずる。

⑬雷鳴等で危険の恐れがある場合は、試合途中でも一時中断とする。

- ⑭再試合の場合はサスペンデッドは採用しない。
- ⑮打者が一巡した際には、ウォーターブレイクを取る。

ポートボール
(女子競技)

- ①使用球は、ゴム製教育2号とする。
- ②規定内で勝敗が決しない場合は、1分間の休憩後に3分間試合を行い、なお同点の場合は1分間休憩後3分間の試合を行う。それでも、勝敗が決まらない場合は最終出場選手7名の抽選で決定する。
- ③抗議は何人たりとも認めない。
- ④その他は、市こ協規定ルールによる。
- ⑤監督、コーチは腕章を着用すること。
- ⑥勝敗が決定しない場合の抽選は、「○」「×」の札をそれぞれ7枚ずつ用意し、最終出場選手で1人ずつ引く。審判員は、チーム毎に札をまとめ、監督の立会いのもと、開封し、「○」が多いチームを勝ちとする。(誰が引いた札か特定ができないよう配慮する。)

- 11 指導者及び
応援者の
態度心得
 - ①笛、太鼓等による鳴物入りの応援及び体育館での競技中のフラッシュ撮影は禁止する。
 - ②出場選手の心証を害する言動は慎むこと。
 - ③大会役員、審判員の指示に従うこと。
 - ④上記項目に反した場合、退場もしくは試合を没収することがある。
また、没収試合やそれに準ずる不祥事を起こした校区には1年間の出場を停止することもある。
- 12 背番号
 - ユニフォームに背番号をつけなければならない。
 - ※主将は10番の背番号をつけることとする。
- 13 その他
 - ①参加中に生じた選手の事故について、主催者は応急手当の他、責任を負わない。
 - ②つな引きについては、別紙大会実施要項及び規定を参照する。

- 付 則
- ①入場、選手整列及び開式の際には、指示に従い速やかに行動すること。
 - ②体育館に入室する際は、必ず上履きを使用すること。
 - ③体育館内では観覧席以外での飲食を禁ずる。
 - ④グラウンド及び体育館の設備を使用した場合、原状に復すること。
 - ⑤施設の設備を損傷した場合は速やかに、市こ協役員まで申し出ること。
 - ⑥危険防止のため、練習場所でのバッティング・ノック練習は厳禁とする。ただし、素振り・キャッチボールは可とする。
 - ⑦全競技1・2位の表彰を行う。

つな引き大会実施要項

- 1 期 日 令和 7 年 12 月 7 日（日）
- 2 会 場 金岡公園体育館小体育室
- 3 チーム数及び参加資格 ①各ブロックより 4 チーム以内とし、小学校 4 年生から 1 年生までで編成し、校区代表、校区選抜のどちらでもよい。
②出場資格に関し不正が認められる場合は、当該選手の出場は認められない。
③やむを得ず、校区でチーム編成ができない場合、同一ブロック内での合同チームを認める。ただし、強化のための合同チームは認めない。また、合同チームはブロック会議で承認され、ブロック会長が認めた場合のみ認めるものとし、市こ協事務局へ提出すること。
- 4 チーム編成 選手 8 名（① 4 年生 4 名、3 年生から 1 年生まで 4 名②下級生から補充は可）、交替選手 6 名（4 年生 3 名、3 年生から 1 年生まで 3 名）、監督 1 名、トレーナー 1 名、他 1 名、計 17 名。
- 5 競技規則 市こ協制定の規定による。
- 6 競技方法 全参加チームによる 1 本引きの予選リーグ戦を行い、予選通過チームによる 3 本引き（2 本先取）の決勝トーナメントを行う。
※なお、参加チーム数により変動の可能性あり。
予選リーグ戦の勝敗結果が複数チームで同数の場合、予選での直接対決の結果によって順位を決定する。決定できない場合は、チームの監督 1 名によるくじ引き抽選により順位を決定する。
- 7 抽 選 会 令和 7 年 11 月 24 日（月）午後 3 時～
会場：堺市役所本館 3 階第 1・2 会議室

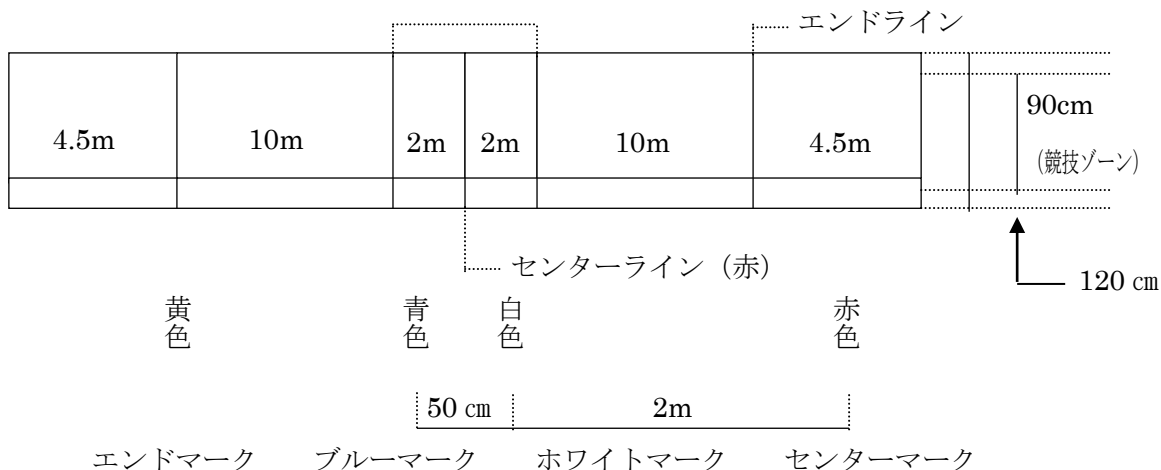
堺市こども会つな引き大会規定

(1) ロープ

ジュニア用（太さ（周囲）9 cm～10 cm、長さ28 m～30 m）

(2) レーン

マット 2m ライン（白）



(3) ポジション

- ①ファーストプレー（先頭選手）は競技開始の度にロープのブルーマーク外側の近い所を握っていなければならない。
- ②アンカーマン（最後尾選手）は競技開始時にはエンドラインより前にいなければならない。
- ③ロープを引く位置は左右どちらでもよい。
- ④選手のポジションは自由に変更できる。

(4) ゲーム

- ①予選リーグでは1セットマッチで勝敗を決め、決勝トーナメントは3セットマッチで、2セット先勝した方が勝ち。
- ②サイドは、1ゲーム毎に交替する。
- ③1ゲームが1分を超えた時は、センターマークの位置で決定。
- ④センターマークを自分の方へ2 m引込んだ方が勝ち。
- ⑤選手交替は、各セット前に監督から審判に申し出る

(5) 競 技

①競技は審判の合図で開始します。

②アンカーはアンカーパットを着用する。

(6) 反 則

①地面に座りこんだり、スリップしたまま引き続けた場合。

②ロープをひじやひざに巻きつけた持ち方をした場合。

③山登りのようにロープを手でたぐった場合。

④規定以外の持ち方をした場合。

＜ロープが片方の脇の下を通っていない。＞

⑤最後尾選手が規定以外の持ち方をしたり、肩からはずれてロープが脇の下を通っていない場合。

(7) 服 装

①服装は長袖を着用し、**つな引き専用以外の靴** 及び赤白帽を必ず着用のこと（素足は失格）。

(8) そ の 他

①応援は鳴物、旗等は一切禁止。

②下履きを入れるための袋を持参すること。